

# 多古米を軸としたふるさと納税寄付額の増加に向けた戦略は

**答** 返礼品の選択肢拡充と発信強化で寄付促進を図ります

## 寄付額増加による一般財源の確保について

**問** ふるさと納税の今後の展開には、他自治体との差別化を意識した中長期的な商品戦略が必要で、多古米を価格競争に巻き込まず、ブランド価値を維持しつつ高単価市場での存在感を高めるべきです。そのためにも、寄付者の世代・ライフスタイルに応じたマーケティングやデータ活用が重要と考えますが、町として今後どのように進めていくのか伺います。

### 財政課長

ふるさと納税の返礼品は本来「多古町を応援してくれる方への感謝」が目的ですが、現在は自主財源確保の観点から、魅力ある返礼品の充実に努めています。今後は①生活に役立つお得感のある品、②高品質志向のブランド品という2つのニーズにバランスよく応え、トレンドや業者の知見も生かしながら寄付額の増加を目指します。

**問** ふるさと納税による寄付増加は一般財源の確保につながるが、行政サービスの充実や新規事業

### 財政課長

への投資が可能となります。現在注目を集める多古米を活用しないのは機会損失であり、スピード感を持った対応が必要です。在庫確保には生産者への出品促進が不可欠で、経済的メリットの提示とともに、「町のために協力してほしい」という熱意をシビックプライドに訴える姿勢も重要と考えますが、町の見解を伺います。



多古米の価値を最大限に活用するために

萩原 宏紀 議員

所要時間 60分



## 多古米の新たなブランド戦略について

りながら進めています。特に多古米の確保については、産業経済課を通じて大口農家に直接働きかけを行い、すでに好意的な反応も得ています。早期予約受付に向けた準備も進めており、町としても熱意を持って積極的に取り組んでいることをご理解いただきたいと思います。

**問** 気候変動により稲作への影響が深刻化する中、「多古米」のシビカリ」という従来の構図ではブランド維持に不安が生じています。町としてこのリスクをどのように認識しているか伺います。

### 町長

高温による品質低下や収量減少が懸念される中、リスク分散のためにも、高温耐性のある品種への転換や品種の多様化が重要であると認識しています。

# 多古町に新しい公共交通を

**答** 今年度より新たな交通施策の調査を行います

## 公共交通の今後の計画は

**問** 多古町にわたる主な公共交通である、路線バス、空港シャトルバス、デマンドタクシーの利用状況を教えてください。

### 町長

路線バスにつきましては、すべての路線で利用者が減少していますが、通勤・通学・病院などに欠かせない交通手段であるため、国、県、関係市町からの補助金により、運行の維持に努めています。空港シャトルバスの利用者数は、前年度と比較して2万5230人増加しましたが、デマンドタクシーの利用者数は前年度から1910人減少しました。



利用者の多い空港シャトルバス

**問** 空港シャトルバスは、運行時間帯によっては混雑しているようです。増便や運行ダイヤの見直しなどは考えていますか。また、空港周辺の道路状況の変化で、ルートなどの見直しは考えていますか。

### 企画政策課長

空港シャトルバスにつきましては、運行費用に対する料金回収率が77%と、多くの皆様に利用されている重要な路線です。時間帯によっては混雑している状況も見られるので、財政的な負担もかんがみ、今後の改善策を検討してまいります。また、道路状況の変化に伴うルートの変更についても、既存の路線バスや現行ルートとの兼ね合いを考慮し、検討してまいりたいと考えています。

### 企画政策課長

デマンドタクシーについては、利用者が減少しているのとありますが、どのようにお考えでしょうか。

**問** デマンドタクシーについては、利用者が減少しているのとありますが、どのようにお考えでしょうか。

### 企画政策課長

今後、原因について確認していきたいと考えております。多古町独自の公共交通、ライドシェアなどはお考えでしょうか。

## 新規就農者に独自の支援を

**問** 農業に従事する方は、年々減少しています。町の基幹産業である農業を守り、新規就農者を増やすには、町としてどのようにしたら良いとお考えでしょうか。

### 町長

町では新規就農者の増加と農家の人手不足の課題を解消するため、令和3年度から国の補助金を活用して人材確保事業に取り組み、町内農家の方々の接点を増やし、就農しやすい環境づくりに取り組んでまいりました。令和6年3月には、農業を考える会を正式に立

行橋 千春 議員

所要時間 57分



うか。

### 企画政策課長

今年度の補正予算で計上した国の補助金を活用し、ライドシェアをはじめとする新たな公共交通の在り方について、調査・検討してまいります。



千葉県品種「粒すけ」の苗

**問** 今後のブランド展開においては、「ふさおとめ」や「粒すけ」などの新たな品種ごとの展開が必要で、旧やる気集団の熱意やストーリー性を次世代へ継承し、現在の米ブームを好機と捉え、中長期的な発信戦略や関係人口の創出、多品種・多市場に対応する柔軟なブランド構造への転換が求められると考えます。こうした観点から、農業・観光・ふるさと納税を統合した横断的なブランド推進体制や方針の策定について、町としての考えを伺います。

### 産業経済課長

町の農業方針は「農業振興地域整備計画」や最上位計画である「総合計画」に明記されており、農業に加えて観光や経済との連携による地域振興を掲げています。現在も観光や教育と連携した農業体験など、農業を軸とした横断的な取り組みが町内で展開されており、農業の持つ力が各分野で発揮されていると認識しています。



大切な農業のためにできることは

ち上げ、ウェブ上でマッチングサイトを開設しました。これにより、町内農家と繋がった新規就農希望の方が複数いらっしゃいます。また、経営開始資金の交付を受けた方で、この10年で離農した方はいません。これも、寛容で面見の良いた多古町の農家の方々のおかげだと思っております。

**問** 農業において、機械、設備投資が一番高いものだと思います。農機シェアリングの他に、法人と契約を交わして、大型機械による作業の委託などはできないでしょうか。

### 産業経済課長

相互に助け合う取り組みは今後研究を進めてまいりたいと思います。